

平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	4 章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち（生涯学習・生涯スポーツ社会の構築）		
	施策（大柱）	6 節 生涯スポーツ	H20 実施計画事業費合計	455,820 千円
	中柱	1 生涯スポーツ環境の充実	64,944 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
		2 指導者の育成確保	0 千円	
		3 生涯スポーツのための施設充実	390,876 千円	
		千円		
施策に関する所属	こども支援課、成人保健課、母子保健課、学校教育課			

② 施策の概要	1)基本方針及び施策の目的			
	○生涯継続していくことができるスポーツ環境の整備を進める。 ○市民の体力向上を図る。 ○指導者の育成に取り組む。 ○スポーツ施設を充実する。			
	2)施策の具体的な内容及び実施方法			
	○生涯スポーツ環境の充実 生涯継続していくことができるスポーツ活動を振興するとともに、各種スポーツ事業の充実を図り、スポーツを通じた交流を推進する。また、地域・学校との連携により市民の体力向上に努め、健康体力づくり運動の推進を図る。 ○指導者の育成確保 指導者研修の充実を図り、質の高い指導者の育成・確保に努め、効果的な指導を進める。 ○生涯スポーツのための施設充実 公式試合の開催に適したスポーツ施設を整備するとともに、地域に根ざしたスポーツ活動を進めるため、地域スポーツ施設の整備充実を図る。			
	3)分野別計画、指針			
○所沢市スポーツ振興計画				

③ 優先的に取り組む事業	4)関連・類似施策			
	5)施策に対する市民ニーズ			
	『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。			
	要望者数	要望率	全施策中順位	分野中順位
	166 人	20.0 %	24 位	3 位

6)施策に係る基礎数値				
項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
市内のスポーツ施設の数（屋内）	ヶ所	8	8	8
市内のスポーツ施設の数（屋外）	ヶ所	7	8	8
体育施設利用者数	人	1,053,059	749,351	1,046,284
体育協会加盟団体数	団体	36	36	36
登録者数	人	12,272	12,798	12,784
体育指導員数	人	110	110	109

事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標
120414 健康体操推進事業	地域自主事業開設数	とこしやん体操に取り組む地域での自主活動グループ数	団体	30	35	116.7	200

※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画一中柱」に位置づけられたものが記入されます。

指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標	
【5年後の目標】スポーツを楽しんでいる市民の割合	生涯スポーツ振興の取り組み状況を示す指標。	%	年度	目標値	62.8	64.6	66.4	68.2	70.0	年度
			実績値	44.6	48.1	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値	
			達成率	71.0%	74.5%				70.0	
体力づくり市民会議主催事業参加者数	ソフトボール、ソフトバレーボールなどの参加者数	人	年度	目標値	3,079	3,184	3,290	3,395	3,500	年度
			実績値	2,699	2,690	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値	
			達成率	87.7%	84.5%				3,500	
シティマラソン参加者数	シティマラソン参加者数	人	年度	目標値	4,225	4,294	4,362	4,431	4,500	年度
			実績値	4,562	5,003	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値	
			達成率	108.0%	116.5%				4,500	
		%	年度	目標値					年度	
		%	実績値				実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		目標値	
		%	達成率							

⑤平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み

- 市独自のところざわ健康体操（「とこしやん体操」）を創作して、市内での普及を始めた。
- 所沢シティマラソンで、参加者が始めて5,000人をこえた。
- 平成20年度開催のインターハイの準備を本格的に開始した。
- 学校開放での夜間照明使用料徴収のための準備を始めた。

1)平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況				
スポーツ施設（温水プール・陸上競技場・サッカー場）の整備	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
総合型地域スポーツクラブの全市的な拡大	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
市民スポーツ団体の自立活動の促進	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
ところざわ健康体操の普及	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向
市民プールの整備	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input checked="" type="checkbox"/> 悪化傾向

2)平成20年度における目標設定		
今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
ところざわ健康体操の普及	市内3地区をモデル地区に指定して普及活動を展開	平成20年度内

3)今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）

○子供から高齢者まで、スポーツ愛好者がいつでも・どこでも参加できる総合型地域スポーツクラブの育成・支援を図る。
○所沢市スポーツ振興計画に基づいて、市民から要望が多い温水プール・陸上競技場・サッカー場の建設をめざすとともに、既存体育施設の整備を行ない、安全な施設をめざす。
○体育指導委員を含めた指導者の確保と育成を図る。
○市民の健康保持・増進のため、市民スポーツ団体との連携を強化するとともに、団体間の連携についても支援をする。さらに、市民スポーツ団体の自立を促進する。

評価日	平成20年8月7日	記入者職氏名	教育総務部次長 藤田 晃
-----	-----------	--------	--------------